

新発田市 令和8年度 第7回定例記者会見(HP)

- 1 日 時 令和8年9月30日(水)午前 11 時～
- 2 場 所 ヨリネスしばた501会議室
- 3 内 容

【市長発表項目】

一般事項

○【大阪 新歌舞伎座×新発田市】地域連携プロモーション

【“ももクロ秋の桃神祭”でPRします】

県外で行うシティプロモーションを行いました

○新発田まちなかハロウィンパーク 2026 開催！！

観光地回遊体験型謎解きイベント「月見堂と消えたカギ」開催

毎年大人気のイベントで多くのこどもたちが市内を巡ります

○令和8年度 新発田市総合防災訓練を実施します！

住民・関係機関一体になって訓練し、災害に対する備えを強化します

○「夢に向かってキックオフ！」

外国にルーツを持つこどもたちのための交流イベントを開催します

○10月から0～2歳児の通院費が無料になります

令和8年度が目玉事業、子育て世帯への支援事業をPRします

【その他】

○10月は健康づくり推進月間です ほかに15件

あいさつ

- すっかり秋らしくなり、稲刈りもあっという間に終わりました。コシヒカリの出来はまだ聞いていませんが、コシイブキの出来が反当り1俵落ちくらいになるとともに質が少し悪いと農家の皆さんからお聞きしました。日照不足による積算温度が足りなかったことが原因だと農家の方が話されていました。実際、6月はいいい天気でしたが、7・8月は少し涼しい夏だったように思います。
- 今年、県が推奨した新しい品種の「夏姫」は、温暖化に備えて熱に強い品種とのことでしたが、かなり厳しかったとお聞きしました。コシヒカリは奥品種なので早生品種より長く日の光を浴びるので、恐らく1表まで落ちず、個人的には例年並み程度になるのではないかと思います。
- 一番の問題は仮渡金が18,500円ということです。政府は20,500円が損益分岐点だと言っていますので、作れば作るほど農家の皆さんは赤字になります。米価は民間の需給によって決まると話した大臣もいましたが、生産者の苦痛や消費者の負担が過度になる状況なら、政府がきっちり対応していくことが必要ではないかと考えます。大根などの野菜と主食の米を同じ市場で考えることはありえません。食料安保や国民の食を守るという観点からもそのように思っているところです。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、県外でのプロモーション事業 2 件をご紹介します。

まずは、大阪 新歌舞伎座とのプロモーションについてです。

- 昨年度、初の試みとして「しばたうし」と連携して好評を博した、大阪の新歌舞伎座でのプロモーションについて、今年度も全面的に連携してプロモーションを実施することといたしました。
- 今回は、松平健さん、コロッケさんが座長として出演する10月特別公演において、劇場内サイネージで観光やシティプロモーション動画を配信するほか、PR ブースにおいて新発田の名産品や新発田の農畜産物を使った弁当の販売・出演者へのケータリングなどを実施いたします。
- 昨年に続き、オファーをいただいた大阪新歌舞伎座様には、絶好のプロモーションの機会をいただき感謝を申し上げるとともに、今後も継続して PR できるよう、要望を続けているところであります。
- また、同じ期間中に、新潟県が大阪市内で運営するアンテナショップ「新潟をこめ」にて「新発田フェア」と題し、新発田の名産品を集めたイベントも開催されます。
- 関西地方の経済中心都市である大阪で、このビッグチャンスをいかして新発田市の魅力を発信し、引き続きプロモーションを実施してまいりたいと考えております。

次に、“ももクロ秋の桃^{とうじんさい}神祭”での PR についてです。

○昨年の春は、新発田のまち全体がカラフルに彩られました。
あれから一年以上経過した今も、「モノノフ」と呼ばれる熱烈なももクロ
ファンの皆様が新発田を訪れていると聞いております。

○今年は、千葉県長^{ちょうせい}生^{とうじんさい}村で“秋の桃神祭”と称し、ビッグイベントが
開催されるそうです。企画にあたり、運営側からは、前年開催地とし
て PR ブース出店のお声がけをいただきました。

○昨年に引き続き、全国から集まるモノノフの皆さんへ、新発田の魅力
を存分に伝え、新発田の名を忘れずに覚えていただけるまたとない
機会ですので、販売する商品には、新発田の自慢の品、とりわけ、ふ
るさと納税でも人気の商品をラインナップに加えています。

○当市のふるさと納税で寄附割合が一番多いのは関東圏です。
ももクロ人気にあやかって、ふるさと納税のさらなる寄附額確保と関係
人口の創出にもつなげたいと考えております。

○なお、今年度、シティプロモーション室を新設しましたので、今後すす
めるプロモーション事業は、先ほどの大阪新歌舞伎座でのコラボ PR
と同様に、農林水産課、商工振興課、観光振興課、シティプロモー
ション室が連携して取り組んでまいります。

次に、新発田の魅力を満喫！ まちなかを舞台にした回遊型体験イベント「新発田まちなかハロウィンパーク 2026」についてです。

○この「新発田まちなかハロウィンパーク」は、毎年大変ご好評をいただいております、今年は10月31日(土)と11月1日(日)の2日間にわたり開催いたします。仮装をした子どもたちが、商店街を元気な声で彩り、お菓子を求めて巡ります。去年は子どもから大人まで約1,000人の方が参加し、思い思いの仮装をまとい楽しんでいただきました。

○参加には事前申し込みが必要となります。詳細につきましては、10月9日(金)に札の辻広場公式Instagramに掲載いたします。

次に、「リアル謎解きゲーム 月見堂と消えたカギ」についてです。

○リアル謎解きゲームは、令和6年からスタートし、これまでに累計約10,000人にご参加いただき、大好評をいただいております。

○今回の大きな特徴は、新発田が誇る全国有数の温泉地、月岡温泉エリアが新たに舞台として加わり、中心市街地の回遊と合わせてこれまでにない史上最大規模での開催となります。新発田の魅力的なエリアを舞台に、観光施設や飲食店を巡りながら、隠された謎に挑戦していただきたいと思います。

○この謎解きゲームは今月12日からスタートしておりますが、令和9年8月29日(日)までの約1年間にわたるロングラン開催となります。参加される皆様のスケジュールやライフスタイルに合わせて、好きな時に参加することができます。

○ゲームに参加するためのキットは、「月岡ブルワリー」または「観光宿泊案内所」にて販売しています。多くの方に新発田の魅力に触れ、新たな発見をしていただける機会となることを期待しております。

次に、令和 8 年度 新発田市総合防災訓練の実施についてです。

- 皆様もご承知のとおり、近年、大雨による災害は全国各地で頻発化・激甚化しており、とりわけ今年は、千葉豪雨をはじめ全国のいたるところや県内においても大雨による被害等が発生しました。
- 当市においても、7月24日から大雨により、一部地域で床上、床下浸水や河川、道路が崩れる等の被害が生じ、いつ大災害に至ってもおかしくない状況であることを再認識したとともに、災害に対する備えをより一層強化していく必要があると感じたところであります。
- これらの状況を踏まえ、今年度の市総合防災訓練は大雨を想定し、10月4日(日)に、加治川小学校を会場に33の関係機関・団体が参加いたします。
- 実施訓練内容については、地元住民の避難及び避難所開設訓練をはじめ、災害対策本部設置訓練、自衛隊、警察、消防等による要救助者救出訓練のほか、北陸地方防災エキスパートを招聘し、土のう積載訓練など18の訓練を実施することとしております。
- また、訓練の他にも自衛隊、消防、警察等の特殊車両の展示や自衛隊の炊き出しによるカレーの配布、防災グッズの展示や防災啓発ブースを多数設置し、子どもからご年配の方まで楽しみながら防災意識を高めてもらえるよう実施いたしますので多くの市民の方にご来場いただきたいと思いますと考えております。
- この訓練を通じて、いざという時にはしっかりと連携し、市民の命と財産を守る体制を構築してまいります。

次に、外国につながる子どもたちのためのイベント「夢に向かってキックオフ！」についてです。

○当市では、「多文化共生コーディネーター」として地域おこし協力隊を配置しています。

○この度、多文化共生コーディネーターが、外国につながる子どもたちのための交流イベントを企画いたしました。このイベントは、子どもたちが自身の可能性を広げ、多様な未来を描くきっかけとなることを目指しています。

○今回は、アルビレックス新潟レディース様にご協力をいただき、イギリスにルーツを持つブラフ・シャーン選手と、スペインのチームに所属し海外でも活躍された平尾知佳選手のお二人にお越しいただき、これまでの経験やサッカーの魅力、サッカー選手という夢を叶えるまでの道のりなどについてお話しいたします。

○イベントの後半では、両選手によるシュートやパスなどのデモンストレーションの見学や、選手と一緒にサッカーを楽しむ時間を設けております。

○また、参加する子どもたちは、11月1日に行われるアルビレックス新潟レディースのホームゲームへもご招待をいただいています。

憧れの選手たちの躍動する姿を実際に目にすることができる貴重な機会です。このイベントを通して、子どもたちにとって自身の多様な背景の素晴らしさを認識し、将来に対して具体的な夢や目標を描くことができるきっかけとなることを期待しています

最後に、「10 月から 0 歳から 2 歳児の通院費が無料になります」についてです。

○当市では、「子育てするならやっぱり新発田」を旗印に、安心して子どもを産み育てる環境づくりを進めております。

○今回新たに実施する 0 歳から 2 歳児の通院費無料化は、今年度の子育て施策のメイン事業の一つとしています。

○子ども医療費助成のほか、重度心身障害者医療費助成、ひとり親家庭等医療費助成においても同様に、0 歳から 2 歳児の通院費を無料とし、対象者は 9 月 17 日現在で 1,027 人であります。

○今回の助成拡大に伴い、子育て世帯が抱える経済的負担の軽減と子育ての不安を解消し、安心して子育てできることに大いに繋がると期待しています。

○対象の方には 9 月下旬に新しい受給者証を発送しております。10 月からの受診の際には、新しい受給者証をご提示いただき、新発田市の子育てしやすい環境を実感していただきたいと思います。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市を御支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。